

平成28年12月19日

只見町議会議長 齋藤 邦夫 様

経済文教常任委員会
委員長 大塚 純一郎

経済文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

記

1. 所管事務調査事項

- (1) 地域産業の振興に関する調査
- (2) 生活環境の振興に関する調査
- (3) 教育の振興に関する調査
- (4) 観光施設、交流施設の設置目的の検証と利活用に関する調査
- (5) J R只見線の早期全線復旧に関する調査

2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 地域産業の振興に関する調査
生活環境の振興に関する調査
教育の振興に関する調査
- (2) 調査方法 現地調査、事務調査
- (3) 調査日 10月11日、11月11日、11月22日、11月30日
- (4) 出席委員 大塚純一郎委員長、藤田力副委員長、目黒仁也委員、
鈴木好行委員、目黒道人委員、酒井右一委員

3. 調査結果及び意見

(1) 地域産業の振興に関する調査

当委員会では、11月11日に新潟県魚沼市からの行政視察を受け入れ、只見町内のエゴマの取組みを初めとする耕作放棄地の利活用方法について、現地調査を行った。過疎高齢化の影響による耕作放棄が進む中で、今年度から町ではエゴマを重点振興作物として耕作放棄地解消に向けた取組を展開しているが、生産面積が少ないことや手作業が多く手間がかかるなど課題も多い。今後、振興作物として定着させるための具体的な方法や生産者を増やす取り組みなど、町当局と共に協議していく必要がある。よって、今後も継続して調査を進めていく。

(2) 生活環境の振興に関する調査

当委員会に付託された陳情案件について、11月22日に陳情者及び町当局担当者と共に現地調査を行った。今回の陳情は、今後のエネルギー資源等で有力視される町内産木材運搬のための搬出路としての道路改良を求めるものであり、現地での関係者による協議を行った結果、委員会としても改良の必要性を認めたことから採択すべきものとする。町民の生活環境改善は、少子高齢化が課題である当町においても必要であることから、委員会として今後積極的に調査していきたい。

(3) 教育の振興に関する調査

当委員会では、今年度町が取り組む奥会津学習センター増築工事の工事現場視察を行った。只見高校振興対策として、山村教育留学生の確保を目的として整備しているが、他地域からのみ生徒確保を図るのではなく、地元中学生に対しても只見高校入学を推進する活動は必要である。町内に県立高校を存続させたい意図は当然理解できるので、委員会としても継続して調査を行っていきたい。

以上